

第6回八重瀬町公共施設等建設委員会会議録

○審 議 日 時： 平成21年3月18日(水) 午後3時00分から5時

○審 議 場 所： 本庁舎2階大会議室にて

○委員出席者： 計11人

○審 議 事 項： 新庁舎候補地の4指標(①行政サービスの利便性、②まちづくりとの整合性、③法適合性と敷地条件 及び④経済性)による比較検討の集計結果報告



○審 議 内 容：

委 員 長： ※ 挨拶を省略

委 員 長： 新庁舎候補地の4指標による比較検討の集計結果を議題に審議を行います。それでは、事務局の方から説明をお願いします。

事 務 局： 委員の方々に4指標による基づく評価を3月9日までに提出をお願いしましたところ、全委員から評価書を提出していただきました。それでは、担当の方から配布資料の説明をさせます。

事 務 局： ※ 配布資料の説明を省略

委 員 長： 事務局の説明のとおり委員皆様の集計結果が出ております。これに対して皆様の意見をお願いします。

委 員 長： 何か意見ないですか。意見なければ数字のとおり取りまとめてよいですか。

委 員： 事務局が作成した1から2頁の比較検討の基本評価の考え方と、各委員から出された3頁の得点とは必ずしも一致しませんよね。この辺はほぼ一致すると考えていいのですか。

事 務 局： 委員の個人個人を見たら一致しませんが、委員全体を見たらほぼ一致するものと考えています。全委員の考え方を基でまとめています。

委 員： 私が言いたいのは、このデータを外に出す場合、表の同じ箇所でも○にする人もいれば△×にしている委員もいますので、単純に委員点数の割合と事務局の出した考え方とがほぼ同じ考え方であれば、検討委員会として1つの意見として出しますので、各委員からの細かい個別の○△×の情報を外に出さない方が理論として成り立つと思います。

- 事務局：この資料は、あくまでも検討委員会の中のもので、これを対外的に公表するかどうかは委員の皆様の審議になるかと思います。確かに、この集計結果を出した場合、どの委員が偏っているかがわかりますので、できれば委員会全体として何点だったと総合的な評価で考えてもらって、事務局としては、細かい委員評価については出さない方がいいかと思います。
- 委員：基本評価のところで矛盾点とか教えてもらいたいのですが、1)の行政サービスの評価の中で、500m、2km、5kmと評価がありますが、それと、4)のまちづくりの整合性の中で、二輪車は1kmと2kmと両方でしていますが、パーソンの中で細かい概念があるのですか。
- 事務局：パーソンでは1km、2kmとか細かい概念はなく、実際に自動車は何パーセントとか、二輪車は何パーセントとかと、そういうふうに表示されており、大まかにはっきり分類するのは難しいですので、主に一番パーセントが大きい乗り物について表示しています。ですので、500m圏内は確実に徒歩圏内で、1km圏内では徒歩が多いのですが、一部乗り物を使う方も少しは入っていますので、はっきり区分はできませんが、主にということである程度区分して、今回の評価で利用させてもらっています。
- 委員：概念は、別に一緒にしなくてもいいんですね。
- 事務局：はい、そうです。
- 委員：総合的な評価の数値については大方でしており、個人的にこれでいいと思いますが、ただ総合評価の経済性のところで違っている、具体的に言えば大方の人が南部工業高校のところを数字で見ているのですが、意見をまとめる段階でいいのですが、この答申の中で、以前にも議論したこともあるが1つだけであるのかという意見もあったと思いますが、しかし、複数案もどうかという意見もありましたが、その時、結果を受けて1・2位の中で特に経済性の中で表面的にこのような結果が出ていると、具体的にいうと敷地面積からいうと大きな難点があり、大き過ぎると、そこをもう少し、1・2案として出す場合、大きいことはいいことなんですよね、できたら話がまとまったら、将来のために一括で敷地を取れるのであれば取っておいて、将来のために利用する方法も残っていると思います。具体的に幼稚園の話が出ていますが、或いは新城小校区の話とかいろいろと絡んでくるのですが、せっかくの学校敷地ですので何か利用できないかどうか個人的に思っている。あれだけの敷地を今の時代にパッと手に入ることはなかなかないので、そこら辺を答申の段階で結構ですので、1案については・・・、2案について・・・、2案を出す前提なんですけど、個人的にはやりたいと思いますが、そこら辺も考慮しながら皆でもう少し考えたらいいと思います。
- 委員長：答申の中身として附帯意見として、あるいは2案まで結果として附帯意見として出すのか、その辺を答申の仕方を考えてよろしいんですね。
- 委員：皆で諮ってやったらいいと思います。次の段階だと思います。
- 委員長：来月にはまとめて答申したいと思いますので、今日でまとめないと事務局の方は答申書を作れませんので。
- 事務局：南部工業高校跡が経済性として評価された結果となっております、南部工業高校については移転ということで新聞報道されており、私も、直接、

県の教育委員会の方に問い合わせしました。9月頃にならないとわからないということでしたが、県の方としては、南部工業高校跡地の跡地利用検討委員会を発足させるとのことでした。県の方もその土地利用をどうするかということで検討委員会を発足すると、おそらく、八重瀬町としても意見を求められるかもしれません。その中で役場庁舎として予定に入っているということで、9,500㎡しか必要ありませんが、こちらは面積34,000㎡ありますので、残りについても全て買い上げとなるのか、そういったこともでてくると思います。資金的なものもどうするのかとなってしまうので、9,500㎡の入り口部分だけを切り売りするかどうかのいろいろ難しい部分もでてくるかと思えます。何れにしても町が残りの部分をどのように跡利用をどのようにするのかそこまで考えておかないと、すべて買い上げて大金を使って買い上げても、この跡利用をしなければいけないとあります。これは予定では9月頃に検討委員会を立ち上げてわかるという話でした。

委員長：他にないですか。

副委員長：今回の総合評価の結果は、あくまで4つの評価で判断されており、委員が言われた、例えば将来のまちづくりを見据えてとか、今後、大きな土地が得られにくいとか、これはあくまで委員個人の意見として出しておくべきであって、4つの評価で5つの場所を評価していこうと、今までの議論をまた最初の話に戻すことになるので、附帯意見とか附帯決議とは別に、議事を進めてきた中でそういう意見がありましたと留めておいていいと思います。

委員：やはり、経済性での用地取得費とか建設費とかはある程度の予想でやっていますよね。私も何回か前かの委員会で5～6年前の話をしました。経済性で評価を高めている委員については、この企画検討の基本条件よりもある程度個人的な視点で評価しているので、経済性で高い点数を付けていると思う。今、事務局の話では9月以降に聞き取りをするというそういった話があります。そういった中で、学校の編成で統合されることがはっきりしているので、跡地利用について、今後、話が出てくると思うので、今の評価全自体では1点しかないのですが、そこら辺は答申する場合は、複数答申するのか順位付けて答申するかはわかりませんが、やはり委員会の意見として入れるべきではないかと個人的に思います。

委員長：附帯意見を取り入れるべきという意見ですね。

委員：結果は結果ですので、この順位は変わりませんので、順位的に言えばこの通りでいいと思う。我々諮問を受けた立場かすると結果だけを出すのは当然なことです。これだけ議論してきた中でせっかくのというのがあるのです。僕らが仮に来月答申して議会にまたかけるわけですね。特別議決でやる、一般の会期中でやるやらないはできないは、これは向こうの話ですので、仮に長期になったとした場合、9月時点で教育庁とのどうのこうの出てくると、十分、附帯決議を付けて置かないと、この辺も十分議論しましたよと。しかし、23年ですか、統合する話、跡地利用の問題もどうなるかわからない中で、順位として2位にきていると付けておかないと、将来的な利用についてはもっともっと検討して欲しいと意見があつと強調してもらいたいと思う。必ず出てくると思う。委員会として県の委員会となると思いますが、現地の意見として出てくると思う。

- 委員長：今の意見は、まとめる上で大事な点だと思いますのでどんなですか。
- 副委員長：そういった意見があったと大事な意見は、どっかに書き加えていいのでは。
- 委員：今の話の私の感想なんです、この検討委員会の役割としたら筋としては副委員長が言った4つの指標を平等に経済性を全て平等にやった点数が出てきたと、結果は結果として、附帯決議の問題で将来的にこんなご時勢の時にまとまった土地が入るとか、この辺を考えると附帯決議をするのも1つの意見で、ただ私は最初に検討会が始まったときに質問したように、実はここが一番の問題は位置を決めてきたわけですが、ある程度答えができた、次の本当の問題は、今、内部検討している財政の問題で、うまくすり合って、タイミングよく議会で議論に入っていくとか、うまくタイミングよく住民にこの結果がいくと、このタイミングをズレながら附帯意見をつけると、たぶんもう收拾がつかなくなる。一回枠組みが崩れると、経済性だけもう1回点数を重くする形で議論するのか、そうすると、まちづくりはどうなるとか、たぶん意見が最初に戻る可能性がある。この辺はとても難しいところで、次の行政内部で検討しているところの話とうまく、今見たいのところがもう一回すり戻しながらまとまるのであれば、その辺を考えながら附帯決議みたいなもの考えたらいいいと思います。
- 委員：答申する場合は一本でするのか、複数で答申するのかどのようにするのか。
- 委員長：複数でやる場合は、野原委員が言われた附帯意見をつけないと理由が通らない、答申する意味がなくなります。全体を順序良く、こう結果を答申するのか、2番目までするのか、3番目までするのかそういうことを決めないと附帯が決まってこない。
- 委員：附帯の基準を作らないと附帯はつけられないと思う。基準を作らないと筋が通らないと思います。
- 委員：5案出ていますが、5案についてここで審議をしてそういう結果になりましたとそのまんま全て挙げるかと思っていました。さらに、順番をつけていくつかに絞って出すのはこれからの話ですか。
- 委員長：今、こんがらがって附帯のことが出てきてますが、全部の中で附帯もつけなくてそのまま答申する、或いは2番目までつけて附帯をつけて答申するか、或いは3番目まで付けて答申するのか、これは何々理由で3番目とか、そういふうに理論付けまでできていますので、そこをどうするか。
- 委員：通常は、そういう場合は答申は1本ですか、複数答申もできるのですか。
- 委員：要するに、複数案の中からこの案が1番よかったという簡単な答申に通常するのですか。
- 委員：今までこれだけ審議して話し合いをしてきましたので、ここに出ている一本でいいのではないですか。その結果は議事録も残っていますので。附帯案とか私たちは納得と理解に苦しむ。
- 委員：要するにこの結果、場所は伊覇区画整理が適当であると単純に答申するのか、議論の経過については本来であれば別なので、しかし、敢えて複数と言い出したのはこれもある。せっかくやったのに、経済性のところはどうかという気持ちがあるので、だから、本当に皆がこんがらがうようであれば、今おっしゃられた単純の複数案の中から慎重に審議した結果、

伊覇区画整理が適当であるというような答申で簡単に決まりますので。

委員長： 数値からも経済性の中からすると、南部工業高校ですので、そういうのも結果として数字を見れば結果として出したと委員皆さんの考えが反映されていますので、そのままでもいいのでは。

委員： こういう記録性の問題です。この記録が消えると思いませんが、やはりお互い南部工業高校という大きな声もあるので、そういのも大事にしたいと今まで言ってきました。いろんな意見の中からとにかく結果として伊覇区画整理ですと、我々、委員会としての意見として伊覇区画整理ですと、この割り切り方の問題です。

委員長： この結果表は、一緒に当然添付するのですよね。

副委員長： 普通、答申はその場所を決めてくれということで町長から付託を受けてやっているわけで、当然、一箇所の場所を決めるわけですよ。当然、説明としては5つの候補地の中から4つの評価指標で検討して、どこそこに決めましたと答申をして、資料としてこういう今までの表とかを提出すればいいわけで、これを2箇所・3箇所なんか付けるなんか必要はないですよ。

委員： 野原委員の話もよくわかりますが、たぶん、私も先が全然スケジュールが全然見えないので、その間に条件が変わる話があつて、ただ検討委員会の筋としては、副委員長が言うような話だと思います。これが意思決定ではなく、答申されても行政内部で議会やる間で、議会でも直ぐに意志決定できなくて、こんなデータをもう一回住民側に出して、説明会なりシンポジウムなりそこで今見たいな議論をなされて、そのためにも検討会の筋としては結果通り出しておいた方がベターだと思う。で、その議論の後に事務局の方で前もって次のステップですよ。意見集約してここで答申の結果が住民の合意形成なので、別の結果が出たとしてもそれは住民合意形成なので、ここは議論の積重ねを結果として出した方がいいと思います。

委員長： その時の資料として、非常にいい資料ですので。それに基づいて住民が議論できればいいと思う。

副委員長： これで決定ではないので、委員会の方で候補地として決定したわけであつて、これから議会とか住民から新たな意見が出てくる可能性がありますので。

委員： 委員毎の集計は出さなくてもいいが、この結果と総合評価をつけた方がいい。

委員： 野原委員が言っているのはここで議論したことの結果を住民側にちゃんと情報として流すことが重要なことで、今までの膨大なデータがあるわけですよ。これからエキスが出てくれば必要性とかいろんな過程で結果があつて、簡単な説明書類をやれば、事務局側で住民にやれば、今やっている話は全部クリアできる話だと思います。

副委員長： また、資料をつけていないと今までの作成資料を付け十分に説明しないと議会で承認されないはずだし、一般住民の方でも納得・理解できないと思います。ですから、答申は1つということにして、資料を付けるわけですよ。

委員長： ある程度見えてきたので、まとめたと思いますが、答申はこの1本で1番目の伊覇地区に決めましたと答申し、添付資料としてこれを添付して

いくことで決定したいと思いますがいかがですか。これは委員会で答申しますので、おそらくこれに基づいて広報とか町民に流れていくと思いますので、後は答申したものについて、町長、町民、議会で議論して決定していくと思います。これで町長から諮問を受けました、新庁舎の位置及び敷地選定については伊覇土地区画整理事業地内に決定したいと思いますので、民様のご賛同を得たいと思いますがよろしいでしょうか。

全 委 員： はい、異議なし。

委 員 長： 有難うございました。次は幼稚園の用地移転の審議については、10分程休憩してからやりたいと思います。

※ 休 憩

委 員 長： 皆さん遅くまでお疲れさまでした。本委員会で6回を数えまして、町長から諮問を受けておりました新庁舎の位置及び敷地の選定について、今日で決定しました。6回と長く、深みのある議論ができて決定したものだと思っております。長い間、どうも有難うございました。引き続いて、また、幼稚園の移転候補地の選定もありますので、引き続き、今後ともよろしくご協力をお願いしたいと思います。本日はどうもお疲れ様でした。有難うございました。

以 上